

## 舟見茶屋跡

この休憩所は、南の方角に広がる那智勝浦と太平洋の絶景で知られていた舟見茶屋の礎石の上に建っています（舟見とは ship-watching）という意味）。本宮地域から大雲取越を通して熊野那智大社に向かう参詣者にとって、ここは最初に目的地の姿を遠望できる場所でした。また、本宮に戻る人々にとっては、振り返って那智に最後の別れを告げる場所でした。また、本宮に戻る人々にとっては、那智に最後の別れを告げるために振り返った場所でもありました。いずれの場合も、参詣者たちはこの茶屋で足を休め、物思いにふけりながら海拔 800 メートルの大パノラマの景色を楽しみました。